

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	こころの健康センター地域支援事業			事業番号	011-212
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	こころの健康センター 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(6) 暮らしを支えるセーフティネットの構築	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③自殺者ゼロに向けた取組の推進			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）			
		寄与するKPI	有	現状値	14.9(2019年度)	目標値	14.2(2025年度)	
		有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4		
		有	取組	自殺未遂者へのフォローアップ支援				
		有・無	指標名	—				
		無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画		堺市自殺対策推進計画（第3次）					
3	事業開始年度		平成 18 年度	点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条（精神保健福祉センターの設置） 自殺対策基本法 自殺総合対策大綱					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		出先機関				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		自殺を考えるほどの悩みを抱えている方、自殺未遂者、自死遺族 精神保健福祉に係る業務に従事する職員、精神障害者の家族会・当事者会 など			対象数	単位
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		誰もが自らのいのちを大切にできるように、きめ細やかな見守りで支えあうまちをめざす				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など		精神保健福祉法第六条及び、自殺対策推進計画（第3次）に基づき、事業を実施。 1.自殺対策事業 ①自殺未遂者支援及び自死遺族相談 ②ゲートキーパー研修の実施 ③自殺予防週間及び自殺対策強化月間における「こころの電話相談」の対応時間の拡充 2.性暴力被害にあわれた女性のための心理カウンセリング事業 3.地域関係機関への技術指導、教育研修 ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)		単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
	専門相談、教育研修、技術支援、普及啓発など各事業の利用者数		人	目標値	3,100	6,000	6,000	6,000
				実績値	6,657	8,116		
				達成率	215%	135%		
当該指標を選定した理由		市民の利用状況が実施事業の活性度等の活動状況を示す指標と考えたため。						
目標値の設定根拠・算出方法		各事業の「相談実績（延）数」及び研修等参加者数の合計数						
12	活動指標(成果を上げるための手段)		単位	実績		目標		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	専門相談、教育研修、技術支援、普及啓発など各事業の実施回数		回	目標値	400	600	600	
				実績値	624	717		
				達成率	156%	120%		
当該指標を選定した理由		複雑困難な相談支援や研修、技術支援、普及啓発等の窓口、機会を地域に十分提供していくことが、地域の精神保健福祉の向上につながる指標になると考えるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		各事業の「相談実績（実）数」及び研修等開催回数、実施回数						

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	こころの健康センター地域支援事業	事業番号	011-212
-------	------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	15,853	18,702	12,986	11,644	12,797
13 財源内訳					
国支出金	2,656	2,715	482	351	482
府支出金	144	4,993	5,593	5,105	5,389
市債			0		0
その他 ()			0		0
受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
一般財源	13,053	10,994	6,911	6,188	6,926
14 人件費 (b)	16,400	28,700	28,700	28,700	28,350
15 年間経費(c)=(a)+(b)	32,253	47,402	41,686	40,344	41,147

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源			
								R4	決算	R5
16 事業費内訳	医師報酬	R4	決算	364	178	普通旅費	R4	決算	15	6
		R5	予算	471	273		R5	予算	115	57
	会計年度任用職員報酬	R4	決算	8,646	4,741	通信運搬費	R4	決算	102	91
		R5	予算	8,995	4,851		R5	予算	177	148
	期末手当(会計年度任用職員)	R4	決算	922	308	印刷製本費	R4	決算	80	27
		R5	予算	924	309		R5	予算	80	27
	謝礼金	R4	決算	728	440	消耗品費	R4	決算	146	60
		R5	予算	1,079	648		R5	予算	171	82
	費用弁償(通勤費)	R4	決算	542	266	その他(会場借上料等)	R4	決算	99	71
		R5	予算	532	320		R5	予算	253	211

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
17 ① 専門相談、教育研修、技術支援、普及啓発など各事業の実施回数	回	624	717
② 上記①にかかる年間経費	千円	47,402	40,344
③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	75,965	56,268
備考(算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大以降実施しているWEBと対面による研修を併用し、受講対象者が安全かつ参加しやすい形式を提供し、研修を実施した。地域の支援者が未遂者支援の知識とスキルの向上に寄与し、自殺未遂者支援体制の構築を図っている。</p> <p>複合的な支援を必要とされる、自殺未遂者支援、自死遺族相談、性被害カウンセリング等の利用数は増加していることから、当センターの相談利用から様々な支援につながることも担い、重層的なセーフティネットの役割を果たしている。</p>
----	---

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>KPI指標である自殺死亡率は新型コロナウイルス感染症や著名人の自殺による影響を受け増加したが、自殺未遂者支援における寄り添い、つながりつづける支援、地域の関わりの輪を増やす支援は、自殺未遂者やその家族等の孤独を防ぎ、自殺の再企図の防止につながるものと考えられる。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症感染拡大以降もWEBでの研修を継続し、支援の輪を広げる活動を継続している。</p> <p>各種支援者と連携して自殺未遂者の支援にあたり、かつ支援者への支援も行い、自殺未遂者を支援するセーフティネットの構築を図り続けることは、今後の自殺死亡率の減少に寄与するものと考えられる。</p>
----	--